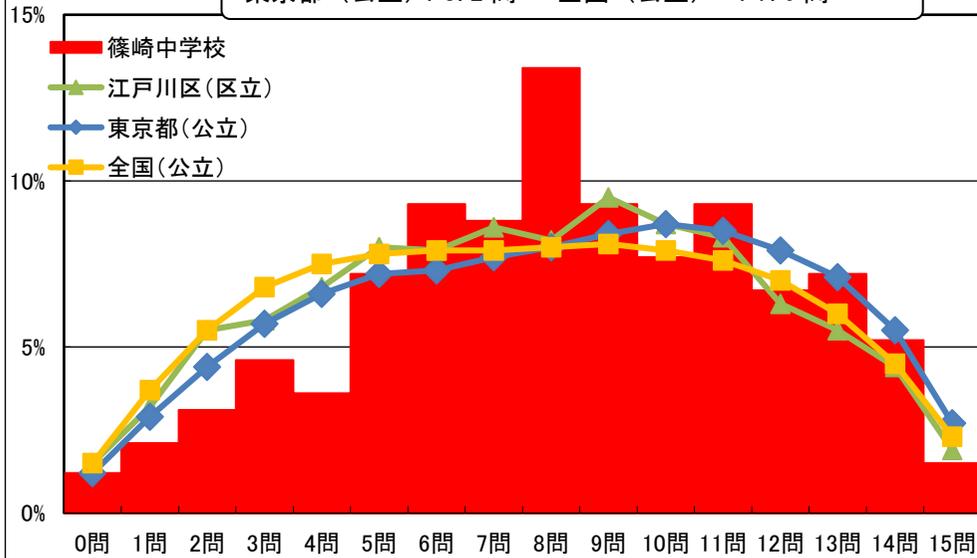


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【数学】 篠崎中学校

正答数分布

平均正答数

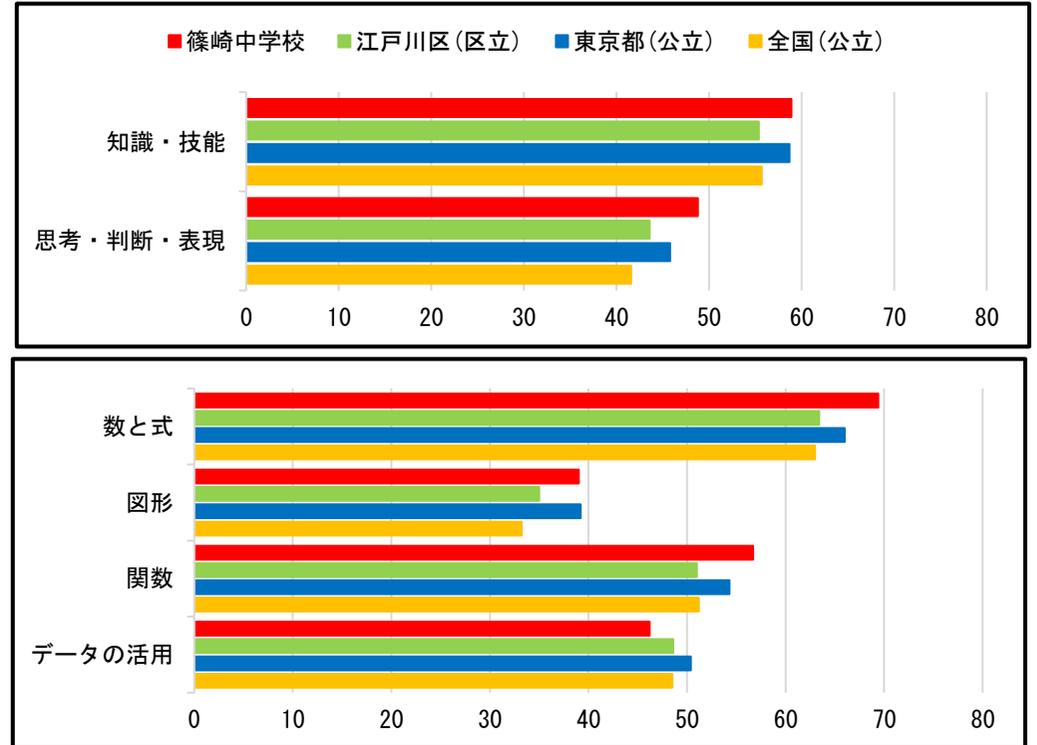
篠崎中学校：8.3問
 江戸川区（区立）：7.7問
 東京都（公立）：8.2問
 全国（公立）：7.6問



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

数 学	上 位 ← 下 位			
	A層 11~15問	B層 8~10問	C層 5~7問	D層 0~4問
篠崎中学校	29.9	30.4	25.3	14.4
江戸川区（区立）	26.4	26.4	24.5	22.7
東京都（公立）	31.7	25.1	22.2	21.0
全国（公立）	27.4	24.0	23.6	25.0

「領域別」の結果



【平均正答率の差】

篠崎中学校	55%
江戸川区（区立）	51%
東京都（公立）	54%
全国（公立）	51.0%
都との差	+1ポイント

【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】平均正答率全国平均+4.0%

多くの項目で全国平均を上回ったが、学習指導要領の内容 D データの活用において、全国平均を 2.3% 下回った。

【授業改善】

複数のデータについて傾向を比較し、数学的な表現を用いて説明する演習を繰り返す必要がある。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の 1/4、2/4、3/4 にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒を A、B、C、D 層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。